

授業概要

広大な大陸で生まれ、三千年以上の歴史を持つ中国文学は、歴史、地理、言語による特色があり、文体、内容などにより詩、辞賦、史伝、論、随筆、小説などいくつかの種類にわかれ、それは時代とともに変遷していきます。そして清朝以前に生まれた中国古典文学は日本に受容され、日本文学に大きな影響を与えています。本授業では、それら中国古典文学について、その特色を理解し、各種の概要、代表的人物、作品を概観していくとともに、それらの日本における受容、また日本文学に与えた影響について講義していきます。

授業計画

第 1 回	導入：授業の概要
第 2 回	中国文学の特色
第 3 回	詩①『詩経』『楚辞』
第 4 回	詩②南北朝時代
第 5 回	詩③唐代
第 6 回	史伝①『史記』
第 7 回	史伝②『三国志』
第 8 回	論①唐宋八大家
第 9 回	論②『文章軌範』
第 10 回	小説①文言小説：志怪小説・志人小説
第 11 回	小説②文言小説：伝奇小説
第 12 回	小説③白話小説
第 13 回	小説④清代の小説
第 14 回	中国文学と日本文学
第 15 回	まとめ：総復習と補足
第 16 回	定期試験

到達目標

中国古典文学について、種類や時代の特徴や各代表的作品、人物について知識を深めるとともに、中国古典文学と日本文学の関係について理解します。また漢文訓読法の基礎知識や、辞書、参考文献などの工具書類の活用法を修得し、漢文体の文章を読解できるようにします。

履修上の注意

履修にあたって、中国の歴史、文学についての知識がなく、“漢文”に苦手意識を持っていても大丈夫です。基本的事項から講義していくので、積極的に授業に臨み、中国古典について興味を持てることを期待します。また授業時には、適宜メモをとる習慣を身につけるようにしましょう。

予習・復習

予習：中国について歴史（歴代王朝）、地理、また授業であつかう人物、作品の時代、基本的知識について確認しておく。

復習：授業内容を整理し、授業で取り上げた作品、人物を復習し、わからない語句、不明点については辞書や参考文献などで確認しておく。

評価方法

筆記試験 70% 平常点（授業、課題への取り組みなど） 30%

テキスト

基本的にレジュメを配布します。その他、参考文献などは授業時に適宜紹介します。